

新拠点ゾーン整備基本構想素案に係る パブリックコメント（意見募集）の結果について

松戸駅周辺まちづくり委員会が「新拠点ゾーン整備基本構想（案）」を市長に答申するにあたり、市民の皆様へご意見を募集したところ、15名の方からご意見をいただきました。ご意見を提出していただきありがとうございました。

お寄せいただきましたご意見を整理し、そのご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会としての考え方につきましてまとめましたので、お知らせいたします。

- 1 意見募集期間**
平成29年10月1日（日）から10月31日（火）まで
- 2 意見提出者数**
15名
- 3 意見総数**
87件
- 4 意見の取り下げ**
0件
- 5 回答数**
87件
- 6 ご意見の概要及びご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方**
下記のとおり

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
1	2ページ はじめに	市民説明会にて、本構想および基本計画作成の前提条件もしくは制約条件が「国有地の取得」であることが、明らかになった。ならば、国有地の取得と市庁舎移転を目的とした、コストミニマムの計画を考えるべきではないか。	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であります。松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。 このため、まずは、基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有するために本基本構想を作成するものです。 なお、本基本構想では、民間活力を最大限に活用し、事業を実施する際の事業費などを極力低減させる旨の考え方を記載しており、具体的な工程や事業費、低減手法などは、関係機関との協議を経て、事業化に向けた検討の過程においてお示しする必要があると考えております。	無
2	2ページ はじめに 9ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-1 周辺区域の現状 10ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	2ページ「新拠点ゾーン整備基本構想策定の背景・経緯」、9ページ「周辺区域の現状」には「官舎跡地や松戸中央公園・相模台公園等の一体開発により、ランドマークとなる多機能拠点づくりを目指す」とあります。 何度か傍聴させていただいた「松戸駅周辺まちづくり委員会」での議論の中で、また先日(10/21(土))の素案説明会では、新拠点ゾーンにおける具体的な配置が示されました。特に説明会で、福川委員長は「広場」の大切さを力説されました。 10ページ「新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)」には「東京に最も近いみどり豊かな生活都市」を目指し、「多様・多世代の市民が集い、多彩な市民活動・文化活動の拠点(コア)となる。」「松戸市の中心の核(コア)となり、松戸市民の広場となる。」とあります。その方向性に大賛成致します。 具体的には、松戸駅東口から相模台の高台へ向かうと、正面に文化施設(市民会館・図書館など)、相模台公園方面には市庁舎、そして、それらの中心には、中央公園の緑を活かした広場という配置がベストと思えます。 我が家の子ども達は、あの周辺で育ちましたが、相模台公園は静かな環境である分、痴漢の心配がありました。「広場」は、周囲から見通せる場所にあり、市庁舎や公共施設への来訪者が立ち寄りやすいような通り道に在ることが大切ではないかと思えます。	平成29年3月実施の第8回松戸駅周辺まちづくり委員会におきまして、「新拠点ゾーンにおける公共施設配置計画の方向性」として、新拠点ゾーン北側に図書館・美術ギャラリー・市民ホールなどの、人をひきつける施設を配置することにより、多くの人々が集い、周囲へも活気を波及させるまちを形成していくことをひとつの方向性として報告を受けているところでございます。 今後策定する予定の「新拠点ゾーン整備基本計画」におきまして、本市の新たな核(コア)として、子育て中の方々や高齢者など、多世代・多様な方々が訪れやすく、利用しやすい、便利で魅力あふれる拠点にふさわしい施設や設備などともに、空間のつくり方をしっかりと検討する必要があると認識しております。	無
3	3ページ 1 松戸市を取り巻く動向・社会経済動向等の整理及び対応 12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ①機能のあり方 13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ②空間のつくり方	「コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくり」として「バス路線」を生かすとされているが、松戸駅のバスの停留所はこれ以上発着回数が増やせないと聞いたことがある。もしこれが事実ならば交通手段としてバスを更に増やすことは出来ないのではないだろうか。また、関連して松戸駅のそばに東京外環自動車道が開通するが、それらを利用したバス路線を新設する気はないということだろうか。新拠点ゾーンにはバスターミナルを設けるべきではないだろうか。長年取り組んできた外環道を使わないのは非常に勿体無い。バスターミナルを建物の一階部分を利用するなどして新拠点ゾーンには高速バスが発着できるようにしないと船橋、市川、柏など高速道路とバスが充実した周辺と都市との競争で優位になることは松戸には不可能なのではないだろうか。	「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」とは、鉄道や路線バスなどの公共交通によりネットワークが形成された都市構造を示しています。 また、東京外かく環状道路を利用したバス路線につきましては、松戸市が要望しバス事業者が検討を行っている聞いております。 なお、新拠点ゾーンにつきましては、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺の魅力を高める大きな可能性を秘めていると考えております。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
4	3ページ 1 松戸市を取り巻く動向・社会経済動向等の整理及び対応	「少子高齢化の進展と人口減少社会の到来」では松戸市人口ビジョン計画から現状維持と言いながら、「財政基盤の脆弱化」では人口減少といい、矛盾した表現となっている。本計画における人口予測を、ビジョンとするのか、社人研とするのか明確化が必要。	本ページでは、松戸市を取り巻く動向・社会経済動向等を整理し、松戸市人口ビジョンで示された将来人口の展望や松戸市総合戦略で示された対応策等を記載したものでございます。 なお、松戸駅周辺は、商業・業務面においても活力が薄れつつあることから、早急に様々な課題を克服し、新たな街の魅力を創生していくことにより、近隣都県からも多くの人を呼び込み、さらに活気や賑わいを高めていくことが求められていると考えております。	無
5	3ページ 1 松戸市を取り巻く動向・社会経済動向等の整理及び対応	計画の前提となる3ページ「松戸市をとりまく動向・社会経済動向等の整理及び対応」を見ると人口減少社会の到来がグラフで示されながら、「50万人程度を維持することを展望」とあります。また、「財政基盤の脆弱化」を懸念して「企業誘致及び雇用の創出」を図るとありますが、高度成長期のような文言だと感じます。寧ろ少子高齢化と人口減少を前提にして、生活しやすい町づくりを考えた方が良くないのでしょうか。		無
6	3ページ 1 松戸市を取り巻く動向・社会経済動向等の整理及び対応	説明会での質問について 「文化の香りは不要。活性化すれば良いのではないかと」との質問に対し「これからの商業は単に物販飲食ではなく、文化と切り離しては考えられず、文化に根差したものになるのではないかと」の答弁には納得致しました。 ただ、「にぎわいのある町づくりに向けて、人口50万人を維持すること」(3ページ「松戸市を取り巻く動向・社会経済動向等の整備及び対応」)を目指すのは無理があるのではないのでしょうか。 人口減少を前提とし、税収や補助金の減少を視野に入れた「身近な暮らしの環境が充実した生活都市」(10ページ)に、松戸市の方向性があるのではないかと思います。		無
7	3ページ 1 松戸市を取り巻く動向・社会経済動向等の整理及び対応	色々な社会・経済の未来予測の中で最も確度の高いものの一つは「人口予測」である。松戸も現人口49万弱を維持せんと政策努力を重ねても減少は避けられない。加えて高齢化率が益々上昇、2020年代前半で30%越す。 さらに、予想される自治体の都市間競争の激化の結末は、連携、合併を読んでの構想でなくてはならない。要するに現在の行政サービスは維持出来ないとリアルに発想しての計画でないと責任性のない計画だと指摘したい。		無
8	3ページ 1 松戸市を取り巻く動向・社会経済動向等の整理及び対応	「バス路線を生かした多極ネットワーク型コンパクトシティの都市構造による都市づくり」とあるが、バス路線は多極を繋ぐツールということか。鉄道23駅のそれぞれの周りに商店がある現状をそのまま表現しただけで、街づくりの意図としては、長期構想(～ 1997)の三環境区のほうがまだ分かりやすい。多極ということは、いくつ極があってもよいということになり、コンパクトシティというには無理がある。千駄堀の駅についても多極のひとつが増えるということか。市内のあちこちで開発を是認するもので、めりはりのあるまちづくりを目指す、現在の都市計画マスタープランと整合しないのではないかと。	現在の都市計画マスタープランにおいても、松戸は、駅を中心に発展した都市であり、鉄道駅を中心に多数の生活圏が形成されていることを特性として紹介しております。また、鉄道やバスなどの公共交通網を充実させることを将来都市像実現の基本方針の主な取組と位置付けております。従いまして、駅を中心とした「多極」をバスなど公共交通で繋ぐことは、現在の都市計画マスタープランの方針と整合しているものと考えられます。	無
9	4ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-1 新拠点ゾーン整備基本構想と上位計画・関連計画の位置付け	賞味期限まじかの上位計画(松戸市都市計画マスタープラン)で、これからの計画を作成するのは問題が多いと考える。平成33年からの松戸市総合計画および松戸市都市計画マスタープランが作成されたのち、本計画を作成すべきと考える。	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であります。松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。	無
10	4ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-1 新拠点ゾーン整備基本構想と上位計画・関連計画の位置付け	市の財政状況から展望し、市民参加・参画、活用が必要条件とすれば「地方債」発行の手続き、検討を願いたい。過去地方債活用による施設の成功例が多々ある。 (参照) 亀岡市「ガレリア、カメオカ」大分「おおいの香りの森博物館」	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であります。松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。 このため、まずは、基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有するために本基本構想を作成するものです。 本基本構想では、民間活力を最大限に活用し、事業を実施する際の事業費などを極力低減させる旨の考え方を記載しており、具体的な事業費や低減手法などは、関係機関との協議を経て、事業化に向けた検討の過程においてお示しする必要があると考えております。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
11	4ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-1 新拠点ゾーン整備基本構想と上位計画・関連計画の位置付け	矢印に沿って「即す」という表示がある、その意味は何か、読みにくく分からない。表現を直されたい。	ご意見を踏まえ「即す」につきまして、「即する」に修正いたします。	有
12	4ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-1 新拠点ゾーン整備基本構想と上位計画・関連計画の位置付け	存在しない上位計画(松戸市立地適正化計画)と、既に作成した下位計画(松戸駅周辺まちづくり基本構想)とで、なぜ整合がとれるのか。したがって、松戸駅周辺まちづくり基本構想の下位計画である本構想も然りである。矛盾もはなはだしい。	立地適正化計画につきましては、現在、計画案の策定作業に着手しており、ここでは、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」と整合を図りながら、計画が策定されると聞いております。	無
13	4ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-1 新拠点ゾーン整備基本構想と上位計画・関連計画の位置付け	・上位計画や関連計画と今回の基本構想との位置付けがよくわかるよい図だと思う。 ・策定時(案も含む)には、現在見ている基本構想が、どの位置にあるのか一目でわかるように「新拠点ゾーン整備基本構想」を赤色にするなどの工夫が必要。(右下の注「※点線で示す計画等は、策定中又は未策定」の意味がわかりにくい)	ご意見を踏まえ、「新拠点ゾーン整備基本構想」をわかりやすく表現いたします。	有
14	4ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-1 新拠点ゾーン整備基本構想と上位計画・関連計画の位置付け	少子高齢化・人口減少社会・財政基盤の脆弱化といった課題があり、その対応として「コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくり」の推進が必要との事だが、今回のこの構想が、「コンパクトシティ」とは逆行しているのではないかとこの疑問があります。 「新しい拠点ゾーンを整備する」という事は、あらたに「人が集まる場所を整備する」という事であり、これは「街をコンパクトにする」とは逆の発想ではないでしょうか。伊勢丹が来年3月に撤退することが決まりましたが、このことはこの基本構想を考えるうえで考慮には入れてらっしゃらないと思います。是非、松戸駅周辺全体が「コンパクトシティ」となるのか、一度計画を見直して頂きたいと思っております。	本市の鉄道駅は、23駅あり、その中でも乗り換え駅は、5駅が立地しており、充実した交通環境であると考えております。そして、今後におきましても、各駅を中心とした日常生活の身近な環境である生活拠点への必要なサービスが配置されることは、コンパクトシティの都市構造として目指しているところであり、本市の都市計画においても同様の状況でございます。 なお、松戸駅周辺は、古くから本市の中心であり、交通結節点としての利便性が高く、現在も拠点としての機能が集積されていることから、本市の広域交流拠点として、もっとも中心の核(コア)として、魅力ある都市空間を形成することが大切であると考えております。 伊勢丹の撤退報道につきましては、大変残念でございますが、松戸駅周辺は、本市の中心市街地にふさわしい商業環境の整備に努めることが大切であると考えております。	無
15	5ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-2 松戸市総合計画 7ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-5 松戸市都市計画マスタープラン(松戸地域)	「将来の交通基盤整備」「交通環境の充実」とは何を指しているのかわかりにくい。地下鉄半蔵門線のことなのか、それとも東京外環自動車道を使ったバス路線なのか、またはそれ以外なのか。もっとハッキリ書いてやる気を見せて欲しい。	本ページは、松戸市総合計画における松戸駅周辺及び松戸市都市計画マスタープランにおける松戸地域に関する記載を抽出し、転載したものといたします。 なお、骨格的な道路網を強化することが松戸駅周辺の交通網の強化に関するまちづくりの方針として掲げられております。 そのため、地下鉄11号線(半蔵門線)や東京外かく環状道路を特定するものではございません。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
16	5ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-3 松戸都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	「地区内に分散する公共施設の再編を行い、」とあるが、先の9月定例会で修正削除された債務負担行為 生涯学習・市民活動支援事業等拠点づくり事業を提案し、公共施設の拡大をはかった行政として、整合性があるのか。	「生涯学習・市民活動支援事業等拠点づくり事業」につきまして、松戸駅周辺以外の施設も集約する計画でございましたが、新拠点ゾーンにおきましては、松戸駅周辺に立地している耐震性や老朽化等の課題を抱えた公共施設の中から、「新たな松戸の顔となる便利で魅力あふれる拠点」にふさわしい文化施設を集約するものと考えております。 また、公共施設再編整備基本方針では、新規の建物は、既存施設の有効活用や民間施設の活用等の検討も行った上で、新たな政策課題や地区別の人口動向等から必要と認められる場合には、整備を行いますとあることから、松戸駅周辺における上位計画とも整合が図られているものと考えております。	無
17	7ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-5 松戸市都市計画マスタープラン(松戸地域)	松戸地域のまちづくり方針図 中心商業・業務地の赤い楕円エリアの中心、伊勢丹の撤退をどう考えていくのか。	伊勢丹松戸店の撤退報道につきましては、大変残念でございますが、松戸駅周辺は、本市の中心市街地にふさわしい商業環境の整備に努めることが大切であると考えております。 なお、新拠点ゾーンにつきましては、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺の魅力を高める大きな可能性を秘めており、商業環境の向上にも寄与するものと考えております。	無
18	7ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-5 松戸市都市計画マスタープラン(松戸地域) 8ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-6 松戸駅周辺まちづくり基本構想	「松戸市都市計画マスタープラン:松戸地域のまちづくり方針」として「交通環境の充実」が挙げられている。 また、図にも「地下鉄11号線の延伸」と書かれているが、新拠点ゾーンに地下鉄11号線の駅ができるということだろうか。前述のバスターミナルと合わせれば交通の結節点になるため大変良いと思うが、これはどれほど現実味があるのか。松戸市はあまり地下鉄11号線の延伸には力を入れていないように思えるが、この松戸駅周辺の再開発を機に本腰を入れる気があるのだろうか。もしやる気があるなら大変評価したい。また、「松戸市都市計画マスタープラン:松戸地域のまちづくり方針」としては「都市型住宅の誘導・整備」が挙げられているが、新拠点ゾーンではそのような言及がない。これは新拠点ゾーンには住宅は設けないということだろうか。市役所とタワーマンションを合わせた複合施設が全国にはあるが、そのようなものは作らず、松戸駅周辺の別のエリアにマンションなどを設けるのだろうか。また、新拠点ゾーンの複合施設にはオフィスを設置すべきではないだろうか。松戸市が推し進めるコンテンツ産業の企業が入りやすい建物を市役所と複合化して用意すべきであると思う。	本ページは、松戸市都市計画マスタープランにおける松戸地域のまちづくり方針に関する記載を抽出し、転載したものといたします。 新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であり、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であると考えております。 なお、平成27年6月に策定された「松戸駅周辺まちづくり基本構想」の9ページに記載の商業・業務ゾーンでは、「市街地整備の推進」や「土地の高度利用の促進」が具体的な取り組みとなっており、中心商業地である松戸駅周辺近接地区においては、その利便性を生かした商業施設や都市型住宅を誘導する街づくりにより、賑わいを創出していくことが大切であると考えております。 そのため、まずは、本基本構想にて基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有し、合意形成が図られた基本方針の趣旨に合致した施設が配置されることが大切であると考えております。	無
19	8ページ 2 上位計画・関連計画の整理 2-6 松戸駅周辺まちづくり基本構想(新拠点ゾーン)	道路整備、車両交通の利便を図ることを書き込まなくていいのか。	本ページは、平成27年6月に策定された松戸駅周辺まちづくり基本構想における新拠点ゾーンに関する記載を抽出し、転載したものといたします。 新拠点ゾーンの整備に際しては、道路整備、車両交通の利便を図ることも大切であると考えております。	無
20	9ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-1 周辺区域の現状 ★改善したいポイント	「★改善したいポイント」に「松戸駅東口における交通渋滞の改善」を記載するべきです。	ご意見を踏まえ、「主要幹線1級市道31号(岩瀬十字路～千葉大学園芸学部入口交差点間の道路)」の渋滞対策につきまして、記載を追加いたします。	有

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
21	9ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-1 周辺区域の現状 ★改善したいポイント	★改善したいポイント「松戸駅より西側からの車両によるアクセスが不便」を書いてはどうか。	松戸市都市計画マスタープランにも記載のとおり、松戸駅周辺の交通利便性を高めるためには、骨格的な道路網を強化することで、自動車交通の利便性を向上させる必要があると考えております。 さらに、駅周辺は、歩行者による賑わいを高めるため、安全で快適な歩行者空間の確保が重要と考えております。	無
22	9ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-1 周辺区域の現状 ★改善したいポイント	生かしたいポイントの「若者が多く集う」は事実だろうか。あまり松戸駅周辺に若者が多くいるようには思えない。さらに改善したいポイントが少なくはないだろうか。松戸駅周辺の最大の改善すべきポイントはイメージの悪さではないだろうか。また、デザイン、景観の悪さも感じるがどうだろうか。	ご意見を踏まえ、改善したいポイントに「若者をはじめ、多世代・多様な方々が活動するための魅力を感じる活動拠点が不足」していることを追記いたします。	有
23	9ページ～16ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針	シビック・コアを唱う以上アクセスが松戸駅東口からヨーカ堂脇経由の電動道だけでは不十分。高齢社会の全市民的な視点からコミュニティ・バスの導入による導線の多岐を考慮すべきで、これの設定委員会も市民参加が成功例となる。	新拠点ゾーンと松戸駅東口の間には、民間の商業ビルがありますが、新拠点ゾーンを整備する際は、民間事業者に協力していただき、ここを訪れる人々が松戸駅東口から容易にアクセスできることが重要であると考えております。	無
24	9ページ～16ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針	「まつど・新・シビックコア」に不可欠な機能は美術館より映画館だと確信する。 6スクリーン(各100～150席)が望ましい。美術館的要素は市立博物館と、新中央図書館に内包させ、他の機能も「21世紀の森と広場」とリンクすべきと考える。	新拠点ゾーン周辺区域の現状は、千葉大学工学部(旧東京高等工芸学校)跡地という歴史性や、既に商業、業務、行政、文化、教育などの諸機能が集積していることなどを生かす必要があると考えています。 また、行政の役割といたしましては、耐震性や老朽化等の課題を抱えた施設が松戸駅周辺に立地していることから、それらを再編・活用する際は、新しい公共施設のあり方を追求し、魅力ある空間の創出が必要であると考えております。 民間の役割といたしましては、市民ニーズの高い施設を導入することで、共にランドマークとなる多機能拠点づくりを行い、新たな街の魅力を創生していくことで、さらなる活気や賑わいが高められると考えております。 なお、今後策定する予定の「新拠点ゾーン整備基本計画」におきまして、導入する具体的な機能を検討する必要があると考えております。	無
25	10ページ 3 拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	文中「新しい多彩な市民活動・文化活動が始まり」とあるが、市民活動・文化活動拠点は、公共施設再編整備計画に基づく再配置計画によるものでなければならない。再配置計画が無い現状において、少なくとも新庁舎以外の施設については、決定であるかのような表現は正しくない。	平成27年10月に策定された松戸市総合戦略において、「松戸駅周辺まちづくり基本構想が実現し、中心拠点が強化される」ことを具体的な施策のひとつに掲げています。 新拠点ゾーン周辺区域の現状として、千葉大学工学部(旧東京高等工芸学校)跡地であったことなどの歴史性があることや、既に商業、業務、行政、文化、教育などの諸機能が集積し、大学や商業施設に若者が多く集うことなどを生かす必要があると考えています。 また、耐震性や老朽化等の課題を抱えた公共施設が松戸駅周辺に立地していることから、それらを再編・活用する際は、新しい公共施設のあり方を追求し、魅力ある空間の創出や、ランドマークとなる多機能拠点づくりを行い、新たな街の魅力を創生していくことで、さらに活気や賑わいを高める必要があると考えております。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
26	10ページ 3 拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	施設(ハコモノ)が「活気あふれる拠点」にならないのは、伊勢丹の例をとっても明白。ソフト面による機能充実が必要であるが、その記述がない。ソフト面の施策を追加すべき。	持続可能なまちづくりを行うためには、ソフト面の施策展開が必要であると認識しております。そこで本基本構想におきまして目指すべき方向性として「多様・多世代の市民が集い、新しい多彩な市民活動・文化活動が始まり、活気にあふれる松戸を創り出す(クリエイトする)拠点(コア)となる」ことを目標として掲げているところでございます。 これは、市民を中心に多くの方々が集い、その様々な活動を通して、交流を促進し、活気を創出することを新拠点ゾーン整備の際の基本方針として位置付けたものです。	無
27	10ページ 3 拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	文中「松戸市民の広場」とあるが、広場は駅周辺の住民のためではないか。全市民の広場であれば、21世紀の森と広場に集約すべき。同広場には公園機能や文化施設があるし、不足であれば、不足分を新たに建設すればよい。新拠点ゾーンに新たに建設するよりは、費用は節約できるのではないか。	21世紀の森と広場は、里山の原風景を残した自然尊重型都市公園として多くの方々から親しまれております。 一方、松戸駅周辺地区は、古くから松戸の中心地であり、交通結節点としての利便性が高く、既に拠点としての機能が集積されています。 新拠点ゾーンにつきましては、松戸駅周辺まちづくり基本構想におきまして、まちづくり方針に「新たな松戸の顔となる便利で魅力あふれる拠点とする」ことを掲げております。 また、この新拠点ゾーンの整備により、松戸駅周辺全体の回遊性を生み出し、東口周辺や西口周辺に整備効果が波及することで、本市の中心市街地である松戸駅周辺の新たな街の魅力を創出し、活気や賑わいを高めることが可能であると考えております。 このようなことから、松戸駅周辺の耐震性や老朽化等の課題を抱えた公共施設を集約することで、松戸駅周辺に新たな核(コア)をつくり、市民の皆様が集まることのできる「広場」を形成したいと考えております。	無
28	10ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	「多核都市松戸の、もっとも中心の核(コア)となる。」とあるが、P. 3の多極ネットワーク型にも関連するが、コアが要るのなら、多極や多核とは相反する。	本市には、6路線23駅を中心とし、それぞれに核(コア)がありますが、本市の広域交流拠点であります松戸駅周辺は、古くから松戸の中心であり、交通結節点としての利便性が高く、既に多くの拠点としての機能が集約されていることから、新拠点ゾーンについては、様々な活動が繰り広げられる「もっとも中心」となる核(コア)となる必要があると考えております。	無
29	10ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	コンセプトを読むと、松戸駅周辺の一点豪華主義に思え、本基本構想には反対である。松戸市は東京都のベッドタウンとして23駅の周辺を中心に発展してきた。松戸駅は通過駅であり、乗換駅である。これからの、人口減少化・高齢化時代に備え、コンパクトシティ化の検討や対応も必要である。そのためには、限られた資本を松戸駅周辺に集中投下するのではなく、いくつかの拠点駅への分散も検討する必要がある。主要公共施設も多機能化や統合化し、結果を拠点駅に分散させることを進めるべき。これにより、他駅のまちづくり事業の活性化が期待できる。	本市の鉄道駅は、23駅あり、中でも乗り換え駅は、5駅が立地しており、充実した交通環境であると考えております。そして、今後におきましても、各駅を中心とした日常生活の身近な環境である生活拠点への必要なサービスが配置されることは、コンパクトシティの都市構造として目指しているところであり、本市の都市計画においても同様の状況でございます。 なお、松戸駅周辺は、古くから本市の中心であり、交通結節点としての利便性が高く、現在も拠点としての機能が集積されていることから、本市の広域交流拠点として、もっとも中心の核(コア)として、魅力ある都市空間を形成することが大切であると考えております。	無
30	10ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	松戸ならではの魅力が、「みどり豊か」で象徴(コア)されるなら、松戸駅東口ではなく、21世紀の森と広場や、開発しない矢切耕地ではないのか。新拠点ゾーンのような人工的な空間ではないと思われる。	21世紀の森と広場は、里山の原風景を残した自然尊重型都市公園として多くの方々から親しまれており、本市のみどりの象徴であると考えております。 一方、東京都心から至近である松戸駅の近傍にある新拠点ゾーンのみどりは、歴史が育んだ財産であり、都市内にもみどりが必要であることから、このみどりと都市の調和を図ることで、中心市街地にうるおいを与え、松戸を代表するランドマークとなるものと考えております。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
31	10ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	2ページにランドマークとなる拠点とされているが、庁舎(官庁街)や公共施設(図書館)に周辺自治体から人が大勢集まってくる例が都市部であるのか。松戸ならではの魅力の象徴とは、訪ねてよいまちとしてか、住んでよいまちとしてなのか。	本基本構想では、「空間のつくり方」に記載のとおり、様々な空間を活用し、市民が集える場所を随所につくり、魅力を創出してまいりたいと考えております。 なお、住んでよいまちとすることで、訪ねる方々にとりましても、よいまちが形成されるものと考えております。	無
32	10ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	新拠点ゾーン整備計画に期待すると共に、そのコンセプトについては、大いに評価致します。	ありがとうございます。ご期待を裏切らないように努めてまいります。	無
33	10ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	「シビック・コア」という言葉は国交省が使い始めてそれなりの年月は経過しているものの、一般市民には「なじみの薄い言葉」ではないか。また、上位計画の松戸市都市計画マスタープランにも利用されていない言葉である。別の言葉に置き換えるか、注釈をつけることを提案する。	3つの方針を適確に表現するために、「シビックコア」を採用いたしました。	無
34	10ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-2 新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)	具体的な計画について 10ページ新拠点ゾーンのコンセプト「まつど・新・シビックコア」に示された3つの柱には賛成です。特に3番目の「多様・多世代の市民が集い、新しい多彩な市民活動・文化活動」が行われるようになることを期待します。 子ども、青年の居場所があり、市民が情報を得られる図書館があり、市民活動を支えるスペースが保障され、市民自身による情報の発信と交流ができる空間が欲しいです。 大規模商業施設よりも、さまざまなニーズにこたえられる商店街も良いと思います。 現在の中央公園の緑はできるだけそのまま生かしてほしいです。子育てをする若い世代と、孤立しがちな高齢者が触れ合える公園であってほしいと思います。	本基本構想は、整備する際の魅力を最大限に引き出すための整備の基本方針を示しております。 今後策定する予定の「新拠点ゾーン整備基本計画」におきまして、本市の新たな核(コア)として、子育て中の方々や高齢者など、多世代・多様な方々が訪れやすく、利用しやすい、便利で魅力あふれる拠点にふさわしい施設や設備などをしっかりと検討する必要があると認識しております。	無
35	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方	平成27年度から平成28年度にかけて実施された「松戸駅周辺地区まちづくり整備基本計画検討業務委託」によって整備基本計画が検討されているはず。ならば、その段階での整備施設の概要等を「参考・検討中」でもよいので提示すべき。でないと、基本構想に書かれていることのイメージができない。	平成27年度に実施いたしました、「松戸駅周辺地区まちづくり整備基本計画検討業務委託」につきましては、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」に掲げる個別計画に関する各種調査検討、また、配置可能な施設規模の調査検討、区画整理事業等の整備手法の調査検討を行ったと聞いております。 なお、平成29年3月実施の第8回松戸駅周辺まちづくり委員会におきまして、ひとつの方向性として、「新拠点ゾーンにおける公共施設配置計画の方向性」の報告を受けているところでございます。 また、今後、土地利用計画、導入する具体的な機能や配置計画、概算事業費の算出を行い、関係機関との協議や各種手続きを経て、それらを皆様に早くお示しすることが必要であると考えております。	無
36	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方	■周辺や市内の大学と共同で若い起業家を支援する仕組みを準備する。例えば、「聖徳大学と共同で”女性起業家支援”を実施する。」「起業家向けのインキュベーションセンターを設置し、オフィス、IT環境、人的支援(人脈、経営)を行う。」 ■市内在住の高齢者起業支援・インキュベーションセンターにて、スキルある高齢者とスキルを必要とする企業とのマッチングを行いながら、市の事業としてビジネスの立ち上げを試行していく。(登録したスキルのある方によるビジネス創造と試行)	機能のあり方の基本方針として「周辺や市内の大学との機能的、空間的な連携を確実に図り、人々が集まる機会を創出し、本拠点の生き生きとした活用につなげます」、「多世代・多様な市民が交流しつつ、多彩な都市活動・市民活動・文化活動を生み出し(クリエイトし)、発信する中心拠点をつくり出す」を掲げているところでございます。 具体的な方法につきましては、今後策定する予定の「新拠点ゾーン整備基本計画」におきまして検討する必要があると考えております。 なお、パブリックコメントで寄せられたご意見を踏まえ本文中の「生み出し(クリエイトし)」、「創り出し(クリエイトし)」、「」に変更することを申し添えます。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
37	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方	■外国人に魅力ある街づくり・外国人が観光で訪ねたい、生活してみたい、文化に触れてみたいといったことが、ハードル低くできる街・市内の英語教室、英語に力を入れている学校(幼稚園)などと連携	機能のあり方の基本方針として、「多世代・多様な市民が交流しつつ、多彩な都市活動・市民活動・文化活動を生み出し(クリエイトし)、発信する中心拠点をづくります」を掲げ、空間のつくり方(13ページ)の基本方針として、「みどりとともに歴史や文化を生かした空間形成に努め、市民のみならず市外からも多くの人を魅きつけます」と掲げているところでございます。 具体的な方法につきましては、今後策定する予定の「新拠点ゾーン整備基本計画」におきまして検討する必要があると考えております。 なお、パブリックコメントで寄せられたご意見を踏まえ、本文中の「生み出し(クリエイトし)」、「は、「創り出し(クリエイトし)」、「に、「魅きつけます」は、「ひきつけます」に、変更することを申し添えます。	無
38	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方	・具体的施設名が全く入っていないが、希望するものをあげる。 ・図書館、映画館、(ハブ機能をもった)保育所、ショッピングセンターなど ・図書館については、子育て・市民活動・青少年活動・ビジネス活動などを支援する機能をもった複合施設の中にあるとよい。	新拠点ゾーン周辺区域の現状は、千葉大学工学部(旧東京高等工芸学校)跡地という歴史性や、既に商業、業務、行政、文化、教育などの諸機能が集積していることなどを生かす必要があると考えています。 また、行政の役割といたしましては、耐震性や老朽化等の課題を抱えた施設が松戸駅周辺に立地していることから、それらを再編・活用する際は、新しい公共施設のあり方を追求し、魅力ある空間の創出が必要であると考えております。 民間の役割といたしましては、市民ニーズの高い施設を導入することで、共にランドマークとなる多機能拠点づくりを行い、新たな街の魅力を創生していくことで、さらなる活気や賑わいが高められると考えております。 なお、今後策定する予定の「新拠点ゾーン整備基本計画」におきまして、導入する具体的な機能を検討する必要があると考えております。	無
39	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方	結局は何を作りたいのかがよくわからない。市民活動の出来る場とは、ただ市民ホールや市役所などの公共施設が複合化して、広場ができて終わりなのだろうか。それで市外の人々が集まるとは思えない。商業施設や住居も合わせ複合化したほうが良いのではないだろうか。人を集めるには東口の狭いバスターミナルの移転などが良いと思うがそのような案は検討されていないのか。さらに、シンボル軸と書かれているが現在のイトーヨーカドーの建物をどうやって通れるようにするかなどは記載がないがどうするつもりなのか。伊勢丹が閉店する今、イトーヨーカドーまで閉店させたら終わりだと思うが如何だろうか。	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であります。松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であり、新拠点ゾーンを整備する際の魅力を最大限に引き出すことが必要であると考えております。 なお、松戸駅東口駅前広場につきましては、都市計画決定されているものの未整備であることは、認識しておりますが、新拠点ゾーンは、限られた敷地面積であるため、全ての機能を導入することが困難であることから、新拠点ゾーン整備とは別に、松戸駅東口直近に、駅前広場を整備する必要があると考えております。 また、シンボル軸につきましては、隣接する民間企業と連携し、協力を得ながら、台地と水辺をつなぐ軸を形成し、駅を中心とする賑わいの輪を拡大することが必要であると考えております。	無
40	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方	小さい頃から松戸で育っているものです。現在は一児の母として松戸で子育て中です。一市民として、今回の新拠点開発には、とても期待しています。 子育て中の身として、新拠点についての希望を大きく4点、挙げさせていただきます。 1. 北側に大きめの図書館が欲しい 2. 公園にピクニックができるようなスペースが欲しい 3. 駅から新拠点まで傘をささずに移動できるようにしてほしい 4. 贈答品や手土産を購入できるような商業施設が駅近に欲しい	新拠点ゾーンの具体的な整備を実施する際には、本市の新たな核(コア)として、子育て中の方々や高齢者など、多世代・多様な方々が訪れやすく、利用しやすい、便利で魅力あふれる拠点にふさわしい施設や設備などをしっかりと検討する必要があると認識しております。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
41	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方	1. 北側に大きめの図書館が欲しい 子どもにとって読書は、頭や心を育てるためにとっても大切だと思っています。なので、子どもがたくさん本に触れられるような環境があると非常にありがたいです。新拠点に図書館があれば、公園や駅に近いことで、公園遊びやお出かけ帰りにも気軽に寄ることができ、自然と訪れる回数が増えると思います。 なお、施設としては以下のような希望があります。 ●バリアフリー対応 車椅子やベビーカーでも回れるようにして欲しいです。 ●オープンカフェ併設 借りた本をそのまま読めるようなカフェがあると過ごしやすいです。晴れの日には中央公園の緑を眺めながら、外で飲食できるようなスペースがあると素敵だと思います。 ●赤ちゃんや子どもが休憩できるような床スペースの設置 すぐに使えるオムツ替えスペースや授乳室に加えて、赤ちゃんや子どもが床に座って遊べるようなスペースがあると、下の赤ちゃんを転がしつつ、上の子が選んできた絵本を読んでもあげられます。これにより、抱っこで疲れたママも赤ちゃんを一旦下ろして一休みできますし、子どももお気に入りの絵本を探しやすくなります。また、赤ちゃんや子どもが休憩できる場所があると、そのあとそのまま公園や買い物に行くこともできるので、非常に便利です。図書館の子ども用ゾーンによくあるスペースは、自分で本を読めるような子ども達が使えるスペースで、あまり騒いではいけないという思いがあり、まだ本を読めない子どもには、なかなか読み聞かせができません。静かに本を読めるスペースとは別に、小さな子ども達が自由に騒げるようなスペースがあると嬉しいですね。 ●ベビーカー置き場の設置 「にこにこキッズ」に簡単にアクセスできる場所にベビーカー置き場などがあると、図書館と「にこにこキッズ」をセットで回ることができると思います。また、ベビーカー置き場にポールなどがあると、チェーンでの施錠ができるので、安心してベビーカーで訪れることができます。 ●本が購入できる 予約待ちが長いものや、気に入った本などをそのまま購入できるサービスがあると嬉しいです。指定した本を地元の本屋に予約することができ、後で指定の本屋に取りに行く、というのもいいですし、バーコードをかざすと楽天ブックスやアマゾンなどの商品ページを開くことができる、というのもいいと思います。本の貸借だけでなく、購入というアクションにまで繋げられると、購入を迷っている本の検討にも便利に使用することができ、来訪者も増えるのではないのでしょうか。	平成29年3月実施の第8回松戸駅周辺まちづくり委員会におきまして、「新拠点ゾーンにおける公共施設配置計画の方向性」として、新拠点ゾーン北側に図書館・美術ギャラリー・市民ホールなどの、人をひきつける施設を配置することにより、多くの人々が集い、周囲へも活気を波及させるまちを形成していくことをひとつの方向性として報告を受けているところでございます。 今後策定する予定の「新拠点ゾーン整備基本計画」では、新拠点ゾーンの魅力が最大限に発揮されるような施設計画を示す必要があると認識しております。	無
42	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方	2. 公園にピクニックができるようなスペースが欲しい 芝生などがあると、レジャーシートを敷いて、子どもを遊ばせることができます。レジャーシートであれば、小さな赤ちゃんがいても転がしておくことができるので、動き回りたい幼児とまだ歩けない赤ちゃんがいるような家庭でも公園に遊びに行きやすいです。桜などが近くにあれば、お花見の時期には市外から訪れる人も多くなるのではないのでしょうか。	新拠点ゾーンは、松戸駅近傍にありながら、松戸中央公園の成熟したみどりを有していることから、公共施設・商業施設や公園を一体として整備することにより、多くの魅力を発信することができるものと考えております。 なお、公園を整備する際には、子どもから高齢者までの多くの人々が集える場所を随所につくり、誰もが楽しめる空間をつくる必要があると考えております。	無
43	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方	3. 駅から新拠点まで傘をささずに移動できるようにしてほしい ベビーカーなどを使っていると、傘をさすのが大変です。なので、駅から傘をささずに新拠点までいけると非常に便利です。	新拠点ゾーンと松戸駅東口との間には、民間の商業ビルがあることやバリアフリー化のされていないデッキがあることから、その間のシンボル軸の形成につきましては、新拠点ゾーンの魅力を最大限に発揮させるために、大変重要であると考えております。 そのため、民間事業者や関係権利者との協議を進め、雨の日でも新拠点ゾーンへ楽しくアクセスできる空間をつくる必要があるものと考えております。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
44	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方	4. 贈答品や手土産を購入できるような商業施設が駅近に欲しい 伊勢丹松戸店の閉鎖が決定したとのことですが、そうなると松戸駅周辺に贈答品や手土産を購入できるようなお店がなくなってしまいます。贈答品や手土産は、他人に渡すものですから、ぜひ自分の手にとって選びたいものです。子どもがいる家庭やご年配の方は、電車で隣駅に移動するのも面倒であることが多いです。西側の商業ゾーンの一部として、ご検討いただけると嬉しいです。最後に、育児休暇を経て、色々なママさん達と話していると、特に専業主婦や育児休暇中の親子は、便利でさえあればフットワーク軽くどこへでも出かける人が多い印象です。北千住のデパートや亀有のショッピングモール、松戸の伊勢丹にあるような親子広場には、都内県内問わず葛飾近辺の親子が広く多く訪れています。したがって、親子で楽しめるような施設を充実させることで、松戸市内だけでなく、近隣の地域からの来訪者も増やすことができるのではないかと考えております。オムツ替えシートと授乳室があればよいという考えではなく、一つのお出かけ先として一日遊べるくらいまでに充実させていただけると、子ども達の声が絶えず聞こえるような賑やかな街になるのではないのでしょうか。 以上です。新拠点が今までの都市にはないような魅力あふれる場所となることを願っています。よろしく願いいたします。	新拠点ゾーンにつきましては、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺の魅力を高める大きな可能性を秘めており、商業環境の向上にも寄与するものと考えております。 なお、新拠点ゾーン整備におきましては、多様な機能を導入することで、各施設が充実し、自然と長い時間滞在したくなるような空間とし、本市の新たな顔となる便利で魅力あふれる拠点として整備することが必要であると考えております。	無
45	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方	子育て世代に優しい街づくりをお願いします！！ 伊勢丹松戸店が閉店してしまうと、松戸駅周辺には、設備の整った授乳個室スペース、休憩スペースがありません。特に東口にはありません！アトレ松戸とヨーカドーに授乳室はありますが、どちらも狭く、使い勝手がよくありません。個室2室以上の授乳室、調乳スペース、おむつ換えベッド、十分な広さの休憩スペースがあると助かります。また、天気の良い日にはピクニックができる芝生や、3歳以上の子どもたちが雨の日でも思いっきり遊べる室内の無料プレイスペースができると助かります！現在ある、ほっとる一む等は赤ちゃん向けで幼稚園以上になると遊ぶ場所がありません。 ぜひ！！未来を担う子どもや家族の過ごしやすい街にしてください！宜しくお願いします！！	新拠点ゾーンの具体的な整備を実施する際には、本市の新たな核(コア)として、子育て中の方々や高齢者など、多世代・多様な方々が訪れやすく、利用しやすい、便利で魅力あふれる拠点にふさわしい施設や設備などをしっかりと検討する必要があると認識しております。	無
46	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方	13ページの空間のつくり方で、「市外からも多くの人を魅きつけます」とありますが、12ページの機能のあり方では、市民のための中心拠点をつくと読めます。貴重な大規模開発であり、市外から人を呼び込む施設をつくることは大切だと思いますので、12ページの機能のあり方にも、どのような機能により市外から人を呼び込むのか方針を明示したほうが良いと考えます。	ご意見を踏まえ、12ページ①機能のあり方の3点目につきまして、「シビックコアにふさわしい商業の集積を図り、市民が憩い、楽しめる場所とし、公共施設や公園が一体となった松戸ならではの魅力を創造します」を「シビックコアにふさわしい施設の集積を図り、市内や市外から訪れる人々が憩い、楽しめる場所とし、公共施設・商業施設や公園が一体となった松戸ならではの魅力を創造します」に修正します。	有
47	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 1点目「松戸駅周辺の老朽化・・・」	「生み出し」は(クリエイトし)とするなら、「創り出し」の方が適切ではないか。	ご意見を踏まえ「生み出し」につきまして、「創り出し」に修正いたします。	有

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
48	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 1点目「松戸駅周辺の老朽化・・・」	都市活動とはどんなものなのか。都市活動の主体は何か。	住民・来訪者・企業・行政などが効率的に集約された空間の中で行う全ての活動を示しております。	無
49	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 1点目「松戸駅周辺の老朽化・・・」	誰に、何を発信するのか。それによって何の効果をしようとしているのか不明。	新拠点ゾーンの整備により、市内外に松戸駅周辺の魅力を発信することで、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」において、まちづくりの方針として掲げられている「新たな松戸の顔となる便利で魅力あふれる拠点」が実現できるものと考えております。	無
50	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 3点目「シビックコアにふさわしい・・・」	商業集積を複数の小売店舗や関連施設が集まった状態とするならば、1)駅東口周辺商業施設、駅西口周辺商業施設との関係をどうするのか。(新規開拓/移転)2)近年は、郊外型の大規模商業施設(松戸市周辺に多くある)などに押され、空洞化している現状がある。どのような、対策を考えたいかでの提案なのか不明。単純な願望に見える。	平成27年6月に策定された「松戸駅周辺まちづくり基本構想」では、都市機能の更新時期を迎えている松戸駅周辺の様々な課題を克服し、新たな街の魅力を生み出し、市民のみならず、市外からも多くの人を呼び込み、松戸駅周辺の活気や賑わいを高めるための方針が示されました。 松戸駅周辺全体の街の魅力を高めるためには、新拠点ゾーンに本市の新たなランドマークとなる魅力あふれる拠点を形成することに加え、西口、東口のまちづくりにつきましても配慮することが必要であると考えております。 また、近年、近隣市におきまして大型商業施設の出店などにより、松戸駅周辺は、商業・業務面においても活力が薄れつつあることから、早急に様々な課題を克服し、新たな街の魅力を創生していくことにより、近隣都県からも多くの人を呼び込み、さらに活気や賑わいを高めていくことが求められていると考えております。	無
51	12ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ① 機能のあり方 5点目「周辺や市内の大学との・・・」	文中「市内の大学との機能的、空間的な連携を図る」とあるが、市内に点在している大学との連携、特に今できていないことが、何故、新拠点によって実現されるのか。その理由が不明である。交流機能であれば、先頭の段落で示されている。同じものであれば、不要の段落	本市では、大学と行政が、特定の分野にかかわらず、人材育成、学術研究及び教育、産業振興、健康・スポーツ・福祉、芸術・文化振興、観光活性化、災害対策など、様々な分野で連携することにより、地域社会の発展や地域課題の解決に寄与することを目的とし、市内にある千葉大学、聖徳大学及び聖徳大学短期大学部、流通経済大学の各大学と包括的な連携に関する協定を締結し、様々な分野において連携した取組みを実施しております。 これらの連携は、今後もさらに深めていくことが大切であると考えられますことから、新拠点ゾーンを整備する際のひとつの機能として、方針を掲げたものです。 また、機能の1つ目の方針におきましては、多世代・多様な市民の交流が可能となる機能を有する拠点となることを示しております。	無
52	13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方 2点目「みどりとともに・・・」	「みどりとともに歴史や文化を生かした空間形成」は、10ページの「みどり豊かな生活都市」と同趣旨と見るが、「市外からも多くの人を魅きつけます」のは、みどりなのか生活都市なのか、不明だ。なお、「魅きつけます」は「ひきつけます」としないと無理がある。	みどりは、そこに住む方々や訪れる方々が都市活動を行う上で、安らぎやうるおいなど様々な恩恵を与えることから生活都市には、みどりが必要であると考えております。特に、中心市街地におけるみどりは、大変貴重であり多くの人々を魅了するものであると考えております。 なお、ご意見を踏まえ「魅きつけます」につきまして、「ひきつけます」に修正いたします。	有

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
53	13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方 3点目「拠点ゾーンの…」	<p>・「江戸川から新拠点ゾーンへと続くシンボル軸を形成します」とあるが、ここにぜひとも自転車レーンやシェアサイクルなどの自転車利用の視点を入れていただきたい。</p> <p>理由1: 矢切の渡しの葛飾区側には寅さん記念館があり、レンタサイクルを行っている。 理由2: 矢切の渡し船は自転車を載せることも可能(自転車で葛飾観光と松戸観光ができる) 理由3: (歩行者に配慮する必要はあるが……) 矢切の渡しから江戸川沿い、坂川を經由して伊勢丹の裏まで、ほぼ自動車と並走せずに自転車で来る(行く)ことが可能。(伊勢丹の裏、坂川沿いに最近自転車屋さんがあった。ここでレンタサイクル、シェアサイクルも可能では?)</p>	<p>自転車環境の整備につきましては、必要な課題のひとつととらえており、計画策定の際にご意見を参考とさせていただきます。</p>	無
54	13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方 3点目「拠点ゾーンの…」	<p>シンボル軸は、16ページに歩行者動線とあるが、人が行き交う路にはならない。江戸川から新拠点ゾーンまで1km以上あるのではないか。</p>	<p>シンボル軸につきましては、本市の中心市街地である松戸駅周辺の中心軸を表したものであり、人々の行動がこのシンボル軸を中心に繰り広げられるものと考えております。</p>	無
55	13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方 4点目「個々の建物が…」	<p>・「個々の建物」には、既存のものも入るのか。景観としての既存の建物の在り方に壁面広告を規制した県条例以上のルールが要るのではないか。 ・道路・通路を広場にしてはならないと決めたのは行政ではなかったのか。</p>	<p>「個々の建物」につきましては、新拠点ゾーン内に新たに形成される建物の事を表しております。なお、建物の景観は、新拠点ゾーンの魅力を高める上で、非常に重要であると考えております。 また、道路や通路を広場として整備するのではなく、新拠点ゾーン内の様々な空間を活用し、人々が集まれる場所を随所につくることを基本方針として示したものです。</p>	無
56	13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方 4点目「個々の建物が…」	<p>マルシェ、オープンカフェなどは民間施設。公共は「誘致」はしても「つくる」ものではない。</p>	<p>本基本構想は、整備する際の魅力を最大限に引き出すための整備の基本方針を示しております。 マルシェやオープンカフェにつきましては、新拠点ゾーン内におきまして繰り広げられる多彩な都市活動のうちの一つとして民間活力の活用により実現されるものと考えております。</p>	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
57	13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方 5点目「徒歩、自転車で…」	登り坂は、徒歩にも、自転車にも楽しいとは限らない。	相模台は、起伏がある地形となりますので、新拠点ゾーンを形成する際には、必然的に台地へ登ることが必要となります。 しかし、それが地区への来訪の妨げにならないよう、歩きたくなる空間、自転車で行きたくなる魅力的な空間を整備することが必要であると考えております。	無
58	13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方 5点目「徒歩、自転車で…」	高齢者にとって負担となるような丘陵地が、徒歩・自転車で楽しくなるための方策を考えての記載なのか理解できない。		無
59	13ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ② 空間のつくり方 5点目「徒歩、自転車で…」	「自動車で快適にアクセス」とありますが、現状では商業施設の利用者が施設目の車道で車の乗り降りをしており、危険であるばかりか渋滞の一因ともなっています。自動車の走行空間の的確な確保と共に、施設への乗降場が適切に配置されることをお願いします。	乗降場につきましては、ご意見のとおり整備の際に適切な配置が必要であると認識しております。	無
60	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方	本ゾーンには、新庁舎も含まれている。よって、現在の3方針では不足である。それは「本庁舎業務のスリム化・施設のスリム化」や「行政業務のICT活用による時間・場所の制限緩和」等の検討である。一歩譲っても、庁舎整備計画の方針は追記すべきである。本計画から、庁舎整備計画を除くというなら別であるが。	本基本構想は、整備する際の魅力を最大限に引き出すための整備の基本方針を示しております。 なお、庁舎整備につきましては、4ページ「2 上位計画・関連計画の整理」に記載のとおり、別途策定する必要があると考えております。	無
61	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方	「すすめ方」と、「即す」「魅きつけます」など、漢字と仮名の使い方に統一感がない。	ご意見を踏まえ11ページの「進め方」につきまして、「すすめ方」に修正いたします。	有

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
62	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方 1点目「計画をすすめる…」 2点目「事業計画の…」	財源についての不安について 15ページの「計画の進め方」を見ますと、「周辺地域の方々や多くの市民の意見」を聞き、対話するとあります。この素案作成の段階では、そうした形跡が感じられません。ぜひ「わが町をつくる」という意欲が持てる市民参加の計画づくりであってほしい。それには、地元町内会や商店街代表といった方々だけでなく、地元の大学の学生、子育て中の若い世代、場合によっては子どもも加わるシステムが望まれます。「次世代への負担低減」は必須ですが、具体案が見えません。「民間活力活用」は賛成ですが、上記ともかかわり、失敗は許されません。見通しは立っているのでしょうか。計画倒れにならないよう、財源の裏付けと実現の目途を示した計画を示していただきたいと思ひます。	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であります。松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。このため、まずは、基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有するために本基本構想を作成するものです。本基本構想では、民間活力を最大限に活用し、事業を実施する際の事業費などを極力低減させる旨の考え方を記載しており、具体的な事業費や低減手法などは、関係機関との協議を経て、事業化に向けた検討の過程においてお示しする必要があると考えております。なお、本基本構想(案)の答申にあたりましては、本委員会で議論を深めることに加え、多くの方々からご意見を募集することは、非常に大切であると考えておりますことから、パブリックコメント(意見募集)のみではなく、本基本構想素案の市民説明会につきましても実施したところでございます。さらに、今後の計画の推進の際にも、多くのご意見を聞くことが大切であると考えております。	無
63	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方 1点目「計画をすすめる…」	文中「周辺地域の方々や多くの市民の意見を伺う」とあるが、周辺地域の声は地元への利益誘導ばかりになりやすいので、その部分は抹消し、「松戸市民全体の意見を伺う」とすべき。周辺地域は、全体の一部としてとらえるべき。それが、全市の施設を検討するときの姿勢であろう。	本委員会では、本基本構想(案)の答申にあたり、多くの方々からご意見を頂戴するとともに、周辺地域に住む方、店舗等を営む方、また事業を展開する方などのご意見も伺うことで、整備後のソフト面の展開がより力強くなるものと考えております。	無
64	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方 1点目「計画をすすめる…」	計画を進めるにあたって「多くの市民の意見を聞く」(15ページ)ことを、是非実践して頂きたいと願ひます。私達市民が居住し、子育てをし、ついの住処と考えている松戸市なのですから、より良い提案がなされることは自明の理だと思ひます。	本委員会では、本基本構想(案)の答申にあたりましては、本委員会で議論を深めることに加え、多くの方々からご意見を募集することは、非常に大切であると考えておりますことから、パブリックコメント(意見募集)のみではなく、本基本構想素案の市民説明会につきましても実施したところでございます。今後の計画の推進の際にも、多くのご意見を聞くことが大切であると考えております。	無
65	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方 2点目「事業計画の…」	「次世代への負担を低減する」のなら、負担の限度額(償還の額と期間)を具体的に提示し明記すべきである。	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であります。松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。このため、まずは、基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有するために本基本構想を作成するものです。なお、現段階では、整備の際に必要な財政的な根拠や本区域整備の際に必要な国有地の取得時期をお示しできないことなどから、整備時期を記載しておりません。しかしながら、本基本構想では、民間活力を最大限に活用し、事業を実施する際の事業費などを極力低減させる旨の考え方を記載しており、具体的な工程や事業費、低減手法などは、関係機関との協議を経て、事業化に向けた検討の過程においてお示しする必要があると考えております。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
66	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方 2点目「事業計画の・・・」	文中「次世代への負担を低減」とあるが、具体性がない。1)次世代の人口計画は人口ビジョンと社人研予測のどちらか。それによって、税収または一人あたりの負担は変わってくる。2)現状においても現有公共施設の維持費さえ賄えない予測がある。次世代への負担軽減とは、現世代が負担している現施設LCC(ライフサイクルコスト)よりも、低減すると言っているのか。	本基本構想は、整備する際の魅力を最大限に引き出すための整備の基本方針を示しております。 本基本構想では、民間活力を最大限に活用し、事業を実施する際の事業費などを極力低減させる旨の考え方を記載しており、具体的な事業費や低減手法などは、関係機関との協議を経て、事業化に向けた検討の過程においてお示しする必要があると考えております。	無
67	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方 2点目「事業計画の・・・」	「次世代への負担低減を図る」(15ページ)ことは言うまでもありません。 財源の目途は立っているのでしょうか。 また、「“いつ”をはっきりさせて欲しい」との質問もありました。時間が経てば人の気持ちが変わるものだから、と。近隣市に出遅れたことを認めない松戸市が、ゆっくりと進めている時間的余裕は残っていないのではないのでしょうか。ある程度のスピード感が必要だと思います。松戸市の将来を見据えて、失敗は許されない。二度とは無い大プロジェクトを志を持って、市民と共に進めて頂きたいと切に願っております。	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地ではありますが、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。 このため、まずは、基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有するために本基本構想を作成するものです。 なお、現段階では、整備の際に必要な財政的な根拠や本区域整備の際に必要な国有地の取得時期をお示しできないことなどから、整備時期を記載しておりません。しかしながら、本基本構想では、民間活力を最大限に活用し、事業を実施する際の事業費などを極力低減させる旨の考え方を記載しており、具体的な工程や事業費、低減手法などは、関係機関との協議を経て、事業化に向けた検討の過程においてお示しする必要があると考えております。ご期待を裏切らないように努めてまいります。	無
68	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方 3点目「民間活力を・・・」	民間活力の活用、管理運営手法の検討とのことだが、市庁舎も民間所有の建物を借りることが考えにあるのか。	整備する施設の整備手法や管理運営手法につきましては、今後策定する予定の「新拠点ゾーン整備基本計画」におきまして、具体的に検討する必要があると考えております。	無
69	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方 3点目「民間活力を・・・」	15ページ「計画のすすめ方」には、「民間活力」を活用し、「事業の推進及び管理運営手法を検討」とありますが、松戸市直営を原則としながら、それぞれの施設に相応しい手法を注意深く探り、決定することが非常に重要なことと思います。 因みに、図書館の管理運営については、「松戸市直営」であることを強く要望致します。		無
70	15ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-3 新拠点ゾーンの基本方針 ③ 計画のすすめ方 3点目「民間活力を・・・」	・「民間活力を最大限に活用し、事業の推進及び管理運営手法を検討します」とありますが、図書館については、直営を希望します。		無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
71	16ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-4 新拠点ゾーンのエリア(案)	松戸市のホームページの「松戸駅周辺まちづくり委員会」のページで、土地区画整理事業の資料を拝見したところ、イトーヨーカドーの北側の聖徳大学所有の用地についても事業検討範囲に入っていると思いますが、今回の基本構想の素案で、そのエリアが外れているのは理由があるのでしょうか。本敷地も低地と台地をつなぐ大切なエリアであると考えています。	現段階において、本敷地における土地所有者の意向が未確定であることから、エリアの対象としておりませんが、今後の所有者の意向によっては、エリアの対象とすることが見込まれます。なお、今後も、新拠点ゾーンの整備や管理運営あたりましては、情報の共有に努めることが必要であると考えております。	無
72	16ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-4 新拠点ゾーンのエリア(案)	主要道路ネットワークが新拠点ゾーン内で行き止まりとなっていますが、新規道路を整備して歩行者動線となるシンボル軸まで延長し、松戸駅東口と接続できるようにすべきです。	松戸駅東口の低地から新拠点ゾーンの台地へは、高低差が大きいことから、そのシンボル軸に車道を整備することができません。しかしながら、民間事業者や関係権利者との協議を進め、歩行者が雨の日でも新拠点ゾーンへ楽しくアクセスできる空間をつくる必要があるものと考えております。	無
73	16ページ 3 新拠点ゾーンの基本方針 3-4 新拠点ゾーンのエリア(案)	図を見ると新拠点ゾーンと松戸駅との間には「シンボル軸」が作られるとされているが、これはどのようなものになるのか一切書かれていないのは不親切である。新拠点ゾーンに大きく関わるものなのでシンボル軸についても載せて欲しい。また、現在のデッキと重なるが、現在のものと同じような構造にするのであれば是非屋根を設置して欲しい。松戸駅の駅ビルにはいつも人がいるが、これは駅直結であるという点が評価されているのではないだろうか。現在のイトーヨーカドーも駅からデッキで繋がっているが、階段がある上に屋根もなく天気の良い日は歩みにくい。やはり傘を差しながら買い物するのは大変である。松戸の伊勢丹が撤退したのも駅からの導線が悪いというのが理由にあると思う。雨の中買い物なんて出来た距離ではない。新拠点ゾーンに商業施設を設けるのであれば、屋根なしというのは有り得ないと思う。	新拠点ゾーンと松戸駅東口の間には、民間の商業ビルがあることやバリアフリー化のされていないデッキがあることから、その間のシンボル軸の形成につきましては、新拠点ゾーンの魅力を最大限に発揮させるために、大変重要であると考えております。 そのため、民間事業者や関係権利者との協議を進め、雨の日でも新拠点ゾーンへ楽しくアクセスできる空間をつくる必要があるものと考えております。	無
74	17ページ 4 基本構想の策定までの流れ及び事業の流れ 4-1 基本構想策定までの流れ(本項目は、基本構想策定時には削除します)	・削除してしまうには惜しいチャート図である。 ・具体的予定年度などもあるとよい(それが削除する理由か?) ・なんらかの形で残して欲しい。	ご意見を踏まえ、「4-1基本構想策定までの流れ」については、削除いたしません。	有
75	17ページ 4 基本構想の策定までの流れ及び事業の流れ 4-1 基本構想策定までの流れ(本項目は、基本構想策定時には削除します)	少なくとも、新拠点ゾーンは、立地的には松戸駅周辺ではあるが、庁舎や文化施設など全市的な施設が建設が予定されている。しかしながら、松戸駅周辺まちづくり委員会・関係団体の委員構成は、駅周辺の団体に偏っている。また、町会・自治会連合会も各町会からの意見集約を行った形跡がない。ゆえに、町会・自治会の代弁でもない。委員会議事録(H26.11、H29.3)を見ても「結婚式場、結婚式ができるホテルの誘致を」といった枝葉末節的な意見がでてくるような委員会の答申を甘受することはできない。よって、関係団体枠やほとんど欠席の「名ばかり委員」の代わりに、公募も含め本件に知見を持つ、あるいは関心の深い委員に交代すべきと考える。	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であります。松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。 このため、まずは、基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有するために本基本構想を作成するものです。 なお、本基本構想(案)の答申にあたりましては、本委員会で議論を深めることに加え、多くの方々からご意見を募集することは、非常に大切であると考えておりますことから、本基本構想素案の市民説明会やパブリックコメント(意見募集)を実施したところでございます。	無
76	17ページ 4 基本構想の策定までの流れ及び事業の流れ 4-2 事業の流れ	民間の力を活用するとしても、事業の主体は松戸市である。新拠点ゾーン事業への着手を決定する前に、松戸市の財政状況を精査されたい。東京オリンピック後の不況と減収、新病院の負債、義務的経費の増、企業会計・特別会計への操出の増は、いずれも避けられない。財政的に体力のない松戸市が、本当にやりきれることなのか、大変危惧する。全庁的に慎重に検討すべきである。	人口減少社会を迎え、厳しい財政状況が予想されることから、本事業の実施における経済波及効果等を検証の上、本市の財政状況に見合った事業となるよう慎重に検討することが必要であると認識しております。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
77	17ページ 4 基本構想の策定までの流れ及び事業の流れ 4-2 事業の流れ	大日程は、「いつごろ」が無いと評価できない。現状における大雑把な目算でよいから記載すべき。それによって、対象となる上位計画も変わってくる。	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地ではありますが、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。 このため、まずは、基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有するために本基本構想を作成するものです。 なお、現段階では、整備の際に必要な財政的な根拠や本区域整備の際に必要な国有地の取得時期をお示しできないことなどから、整備時期を記載しておりません。	無
78	17ページ 4 基本構想の策定までの流れ及び事業の流れ 4-2 事業の流れ	「都市計画決定」とあるが、都市計画の位置づけが不明である。松戸市都市計画マスタープランや松戸駅周辺地区都市計画ではあるまいから、一般的名称の「実施計画」あるいは「新拠点ゾーン都市計画」などわかりやすい名称に変更していただきたい。	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地ではありますが、この国有地の取得・有効活用が必要となっております。 新拠点ゾーンの土地利用計画について検討を進める上で、基盤整備については、土地区画整理事業による整備を前提としておりますことから、新拠点ゾーンを整備する際の代表的なスケジュールとして土地区画整理事業の手続きのひとつであります「都市計画決定」とお示しているところでございます。	無
79	17ページ 4 基本構想の策定までの流れ及び事業の流れ 4-2 事業の流れ	4-2事業の流れで、都市計画決定を行うとあり、おそらく土地区画整理事業の都市計画決定を行うものと認識しておりますが、土地区画整理事業と合わせて、用途地域の変更や地区計画の策定などの都市計画決定を行う予定はあるのでしょうか。もしそうであれば、何の都市計画決定を行うかあらかじめ記載しておくほうがわかりやすいと考えます。	新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地ではありますが、この国有地の取得・有効活用が必要となっております。 新拠点ゾーンの土地利用計画について検討を進める上で、基盤整備については、土地区画整理事業による整備を前提としておりますことから、新拠点ゾーンを整備する際の代表的なスケジュールとして土地区画整理事業の手続きのひとつである「都市計画決定」をお示しております。 なお、事業の過程では、「用途地域の変更」や「地区計画の策定」などの都市計画決定の手続きもございますが、今後、関係権利者や関係機関との協議や合意を要することから記載しておりません。しかしながら、それらの都市計画決定を行う際は、適正で合理的な土地利用が図られる必要があると認識しております。	無
80	全体	市民への周知について ①松戸市中心部の街づくりに関わる本構想案は市民にとって特に影響が大きく、重要と考えられ、従来以上に周知徹底に尽くすべきと考える。市民に周知をどのように行うのか。 ②本構想案は他の様々な上位計画・関連計画と関係しているため、それら個々の計画及び、体系的な理解が非常に煩雑・困難になっている。十分に理解を得られると考えているか。	本基本構想は、整備する際の魅力を最大限に引き出すための整備の基本方針を示しております。 本基本構想を策定する過程におきましては、広く周知し、多くのご意見を頂きたいと考えております。そのため、パブリックコメント(意見募集)のみならず、市民説明会を実施したところがございます。なお、市民説明会開催につきましては、広報まつど、市ホームページ、市公式ツイッター、市公式フェイスブック、デジタルサイネージ(松戸駅デッキ上に設置)、まつどニュース(毎週水曜日発行され、各支所や各公立保育所はじめ市内の公共施設の掲示スペースに掲示)、松戸駅西口地下駐車場、記者クラブへの情報提供、松戸商工会議所ホームページの新着情報への掲載や所内における案内掲示物の掲示や配架、周辺町会自治会(本庁地区、明第1地区、明第2東地区、明第2西地区、矢切地区)掲示板への掲示により周知を図ったところがございます。 次に、本基本構想において、上位計画や関係計画との関係性を4ページにて示し、5ページから8ページにおいて、松戸駅周辺に関する上位計画の位置付けを明示したところがございます。	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
81	全体	<p>意志決定プロセスについて</p> <p>①特定のトピックではなく市内中心部から広域に亘る大きな構想であるが故に、大まかな考え方以外は非常に見えにくい部分が多い。決定事項が詳細になるほど少しでも多くの市民の議論への参加と意思決定への参加を促すべきであると考え、従来のまちづくり委員会とパブコメだけでは不十分だと考えるがいかがか。</p> <p>②市民が最も関心があるのは、自分の生活上、実際にいつ・どんな影響が起きるかである。基本構想及びその策定後の事業等に於いて、年月の入ったロードマップを示されたい。</p>	<p>新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であり、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。</p> <p>このため、まずは、基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有するために本基本構想を作成するものです。</p> <p>なお、本基本構想(案)の答申にあたりましては、本委員会で議論を深めることに加え、多くの方々からご意見を募集することは、非常に大切であると考えておりますことから、パブリックコメント(意見募集)のみではなく、本基本構想素案の市民説明会につきましても実施したところでございます。</p> <p>現段階では、整備の際に必要な財政的な根拠や本区域整備の際に必要な国有地の取得時期が明示できないことなどから、整備時期を記載しておりません。</p>	無
82	全体	<p>内容について</p> <p>①9月に伊勢丹松戸店の撤退が発表された。特に西口の中心商業・業務地への影響が大きいのは勿論だが、それに留まらず周辺商店街への影響や、他ゾーンとの交流の在り方などにも大きく影響すると懸念するが、総合的に今回の撤退の影響をどう考え、構想案にどう反映させるのか。</p> <p>②市公共施設再編の個々の具体の運用内容がまだ決まっていな中で、今回の構想案に明示されている方針や位置付け等により、本来の自由度を規定してしまう部分は全くないか。(施設再編を検討する際、本構想の内容によって相応しくないとされうるような事はないか)</p>	<p>伊勢丹松戸店の撤退の発表は、大変残念でございますが、松戸駅周辺は、本市の中心市街地にふさわしい商業環境の整備に努めることが大切であると考えております。</p> <p>なお、新拠点ゾーンにつきましては、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺の魅力を高める大きな可能性を秘めており、商業環境の向上にも寄与するものと考えております。</p> <p>また、耐震性や老朽化等の課題を抱えた施設が松戸駅周辺に立地していることから、それらを再編・活用する際は、新しい公共施設のあり方を追求し、魅力ある空間の創出や、ランドマークとなる多機能拠点づくりを行い、新たな街の魅力を創生していくことで、さらに活気や賑わいを高める必要があると考えております。</p> <p>まずは、本基本構想にて基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有し、合意形成が図られた基本方針の趣旨に合致した公共施設が配置されることが大切であると考えております。</p>	無
83	全体	<p>今、松戸市が新しく生まれ変わることに、検討し、いろいろ話し合う場を持たれている事を嬉しく思います。東京の隣りの市でありながら、あまり発展性のない、文化的にも魅力のない市になっていることを残念に思っています。</p> <p>最近では新松戸や東松戸に新しい施設ができたり、計画されたりもしていますが、一番要の松戸駅周辺が老朽化しています。</p> <p>多世代・多様な市民が交流しつつ、多彩な都市活動、市民活動、文化活動を生み出していくためには、「図書館」を中心とした塩尻や武蔵野プレイスのような施設を早急に造って頂くこと望みます。</p> <p>それに併せて、公共施設や憩いの場になる公園ができれば、若い人や子育て世代、中高年も自分達の街として、安住できる場所になるのではないのでしょうか。</p> <p>又、人の流れが多くなれば、周辺の商店も活気付き、伊勢丹がなくなっても魅力ある商店が頑張ってくれば賑わいを高めていくことができるのではないのでしょうか。</p> <p>ぜひ官舎跡地を譲り受けられて、松戸中央公園等との一体開発により、「新たな松戸の顔となる便利で魅力あふれる拠点」として、現在県下No1の「子育て支援の市」と併せて、若い人を呼び寄せ、人口維持できるよう街を発展させましょう。</p> <p>「Be ルネサンス 松戸 ～松戸駅周辺を文化の香るにぎわいあふれる広場へ～」の実現が、一年でも早くできますことを期待します。</p>	<p>新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であり、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずはこの土地を取得することが必要であると考えております。</p> <p>このため、まずは、基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有するために本基本構想を作成するものです。</p> <p>なお、本委員会といたしましても、松戸駅周辺がにぎわいあふれる広場となるよう、しっかりと調査審議してまいります。</p>	無
84	全体	<p>市民説明会において、『基本構想は憲法』という話があった。整備事業が基本構想に沿ったものか否かが、事業推進の判断基準となるとも。ならば、基本構想は、美辞麗句で飾られたものではなく、より具体性がなければならない。特に、対象/対象外の境界および優先すべき事項の明示が必要である。しかし、本構想には、それがない。実際には、それらは基本計画で明らかになるのだろう。従って、本構想は『できたらいいな』レベルの位置づけにすべき。</p>	<p>本基本構想は、整備する際の魅力を最大限に引き出すための整備の基本方針を示しております。</p> <p>新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地であり、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。</p> <p>このため、まずは、基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有するために本基本構想を作成するものです。</p> <p>今後策定する予定の「新拠点ゾーン整備基本計画」では、具体的な施設、機能、規模などを示す必要があると認識しております。</p>	無

新拠点ゾーン整備基本構想素案 パブリックコメント(意見募集)に係る松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方

No.	ページ・項目	ご意見の概要	ご意見に対する松戸駅周辺まちづくり委員会の考え方	修正
85	全体	<p>新拠点ゾーンへの建設は市庁舎・クリーンセンター・公園を優先することで松戸市の大きな課題解決を図ることを提案する。市庁舎・クリーンセンターの併設は岡山県倉敷市の庁舎移転が参考になる。しかも、倉敷市庁舎移転当時よりもICTの発展により、一般市民に関係する本庁業務は、支所やコンビニでもできるようになる。よって庁舎の規模は縮小できる。また、その他の文化施設については、高層化により、現在地のいずれかに集約できる。</p>	<p>新拠点ゾーンにつきましては、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺の魅力を高める大きな可能性を秘めていると考えております。</p> <p>また、耐震性や老朽化等の課題を抱えた公共施設が松戸駅周辺に立地していることから、それらを再編・活用する際は、新しい公共施設のあり方を追求し、魅力ある空間の創出や、ランドマークとなる多機能拠点づくりを行い、新たな街の魅力を創生していくことで、さらに活気や賑わいを高める必要があると考えております。</p> <p>まずは、本基本構想にて基本方針を立て、新拠点ゾーンの目指す姿を市民の皆様方と共有し、合意形成が図られた基本方針の趣旨に合致した公共施設が配置されることが大切であると考えております。</p>	無
86	全体	<p>基本構想の作成は、3～4年塩漬けにしたらどうか。理由は、個々に記載するが、本素案は矛盾だらけである。それは、1)(形式上の答申者である)松戸駅周辺まちづくり委員会で十分な議論がされていない2)賞味期限間近や未策定の上位計画を抛りどころにしているからではないか。上位計画の策定や同委員会の再構築を待つからでも遅くはない。</p>	<p>新拠点ゾーンにつきましては、大部分が国有地ではありますが、松戸市の中心市街地である松戸駅近傍に唯一残された、大規模なまちづくり用地であり、ここを魅力あふれる本市のランドマークとなるよう整備することで、松戸駅東口だけでなく、西口へも相乗効果が生まれ、松戸駅周辺に賑わいを創出できる大きな可能性を秘めている土地であることから、他者に取得されることが無いように、まずは、この土地を取得することが必要であると考えております。</p> <p>なお、本委員会といたしましては、平成27年3月に答申いたしました「松戸駅周辺まちづくり基本構想」の調査審議にあたり、新拠点ゾーンのまちづくりの方向性や取り組みの方向性などにつきまして、数多くの議論を重ねております。</p>	無
87	その他	<p>新拠点に関わる審議を傍聴して感ずるのは松戸に対する理解度の温度差だ。松戸での生活経歴の乏しい人と松戸学の専門家・商工や地区運営のヘッドの中に公募から選抜の市民(老若・男女)を参画させ、もっと刻々の情報公開を求めたい。</p>	<p>本委員会では、本基本構想(案)の答申にあたりましては、本員会で議論を深めることに加え、多くの方々からご意見を募集することは、非常に大切であると考えておりますことから、パブリックコメント(意見募集)のみではなく、本基本構想素案の市民説明会につきましても実施したところでございます。</p>	無